

被災地の皆さんに寄り添った「コト」が実現するための支援を続けていきます



瓦礫が撤去され、整備がすすんでいる2013年1月の宮城県石巻市月の浦



震災間もない2011年4月の宮城県石巻市月の浦

共生の時代

みどりの地球を
みどりのままで

号外

■発行：グリーンコープ共同体理事会
■編集：共生の時代・編集部
■〒812-8561
福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
ヒューリック博多ビル3階
TEL 092(481)7923
FAX 092(481)7876
<http://www.greencoop.or.jp/>

東日本大震災から2年が経過し、被災地では、瓦礫の撤去がすすみ、まるで復興が順調に進んでいるかのように見えます。しかし、グリーンコープが支援する中で出会った被災された皆さんによつては、復興が順調にすすんでいふとは言い難い、厳しい状況です。瓦礫が片付くことと復興は全く違います。

グリーンコープは被災地の状況に応じて、救援物資、瓦礫撤去や生活空間の片付け、農業・漁業の再建や事業の創出（仕事づくり）、コミュニティづくりなどの支援を行つてきました。これからは、被災された皆さんと被災地で様々に頑張っている人に寄り添つて再建への歩みを支援することが大切です。そのため、グリーンコープは、①組合員カンパを継続して「（公益財団法人）共生地域創造財団」の財政を支援していくこと、②「共生地域創造財団」をとおして、地域に寄り添つた支援をしつかり行っていくこと、③「共生地域創造財団」の常駐事務局にグリーンコープの人員を派遣する支援を引き続き行つていくこと、の3点をすすめていきます。

被災地の現状とこれから支援について、組合員や被災地支援のカンパに協力してくださつた多くの人と共有するために、共生の時代号外を発行します。

グリーンコープは、継続的な支援のための組合員カンパに今年も取り組みます。

※ホームレス支援全国ネットワーク、生活クラブ生協、グリーンコープが連帯して被災地の復興支援などをしながら、地域創造の実現をめざす団体

東日本大震災から2年が経過し、被災地では、瓦礫の撤去がすすみ、まるで復興が順調に進んでいるかのように見えます。しかし、グリーンコープが支援する中で出会つた被災された皆さんによつては、復興が順調にすすんでいふとは言い難い、厳しい状況です。瓦礫が片付くことと復興は全く違います。

グリーンコープは被災地の状況に応じて、救援物資、瓦礫撤去や生活空間の片付け、農業・漁業の再建や事業の創出（仕事づくり）、コミュニティづくりなどの支援を行つてきました。これからは、被災された皆さんと被災地で様々に頑張っている人に寄り添つて再建への歩みを支援することが大切です。そのため、グリーンコープは、①組合員カンパを継続して「（公益財団法人）共生地域創造財団」の財政を支援していくこと、②「共生地域創造財団」をとおして、地域に寄り添つた支援をしつかり行っていくこと、③「共生地域創造財団」の常駐事務局にグリーンコープの人員を派遣する支援を引き続き行つていくこと、の3点をすすめていきます。

被災地の現状とこれから支援について、組合員や被災地支援のカンパに協力してくださつた多くの人と共有するために、共生の時代号外を発行します。

グリーンコープは、継続的な支援のための組合員カンパに今年も取り組みます。

※ホームレス支援全国ネットワーク、生活クラブ生協、グリーンコープが連帯して被災地の復興支援などをしながら、地域創造の実現をめざす団体

被災地で顕在化している 日本社会の課題

をしたい」と構想されています。
また、デイサービスセンターが被災し、新たな場所に「デイサービスセンターえん」を開設して



東日本大震災の復興支援募金 にご協力ください

グリーンコープは「共生地域創造財団」とおして継続的な支援を続けるための組合員カンパに今年も取り組みます

申込番号 001 一口 500円

※カタログGREEN50号と51号でお申し込みください

